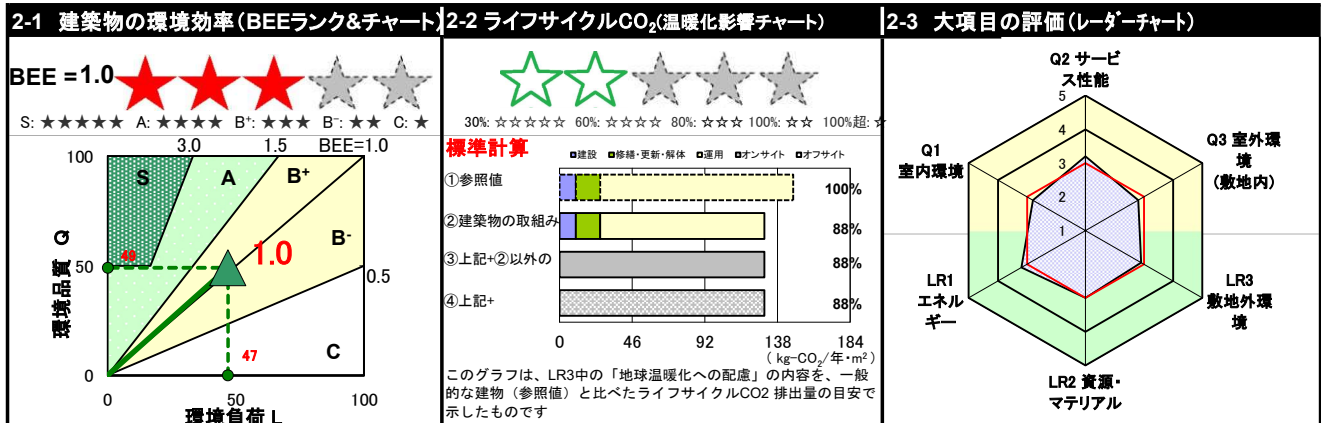


CASBEE®-建築(新築)

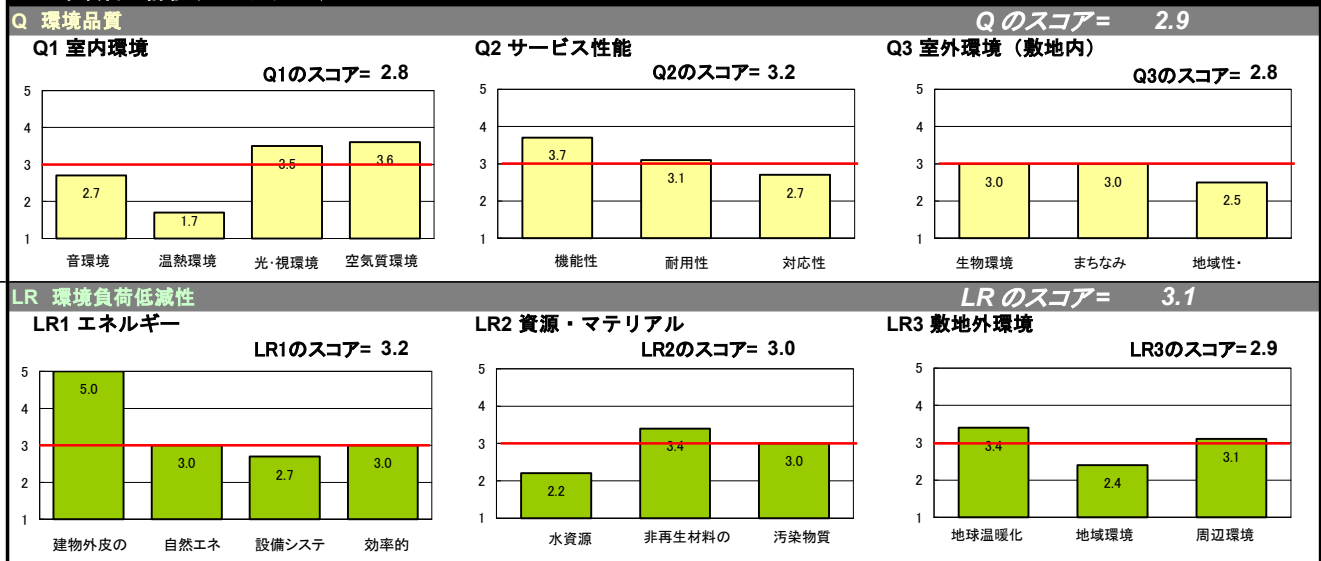
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)埼玉県富士見市針ヶ谷2丁目計画 新築工事	階数	地上4F
建設地	埼玉県富士見市	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、法22条区域	平均居住人員	88 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年6月 予定	評価の実施日	2025年7月1日
敷地面積	1,605 m ²	作成者	株式会社ラカンデザイン研究所
建築面積	813 m ²	確認日	2025年7月1日
延床面積	2,913 m ²	確認者	株式会社ラカンデザイン研究所



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
・埼玉県富士見市に建築される4階建ての有料老人ホームである。		-
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・遮音性能の高い開口部としており、外部騒音の進入を防いでいる。 ・特に専有部は開閉可能な大きな開口部を設け、給気口・排気口の離隔距離を確保し、換気に配慮している。	・耐用年数の長い躯体材料、内装仕上材を採用し建物の耐用性の向上に配慮している。	・特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・特になし	・躯体と仕上材を容易に分別可能なつくりとし、再利用可能なユニット部材を採用することで、資源使用量削減に配慮している。	・屋外広告物照明の不設置などにより、周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)埼玉県富士見市針ヶ谷2丁目計画 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						2.9
Q1 室内環境			0.40		-	2.8
1 音環境		2.9	0.15	2.6	1.00	2.7
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音		3.8	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能	遮音性能T-2	5.0	0.40	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	2.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境		1.9	0.35	1.5	1.00	1.7
2.1 室温制御		1.7	0.50	2.1	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		1.0	0.25	1.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		1.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境		3.0	0.25	3.9	1.00	3.5
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.6	0.30	
1 昼光率	専有部:1%以上	3.0	0.60	4.0	0.60	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御	専有部:カーテン+庇	3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御	専有部:ベッド単位での照明制御	3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	全面にF☆☆☆☆採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		2.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能	専有部:自然換気有効開口面積が居室の1/10以上	-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御	全館禁煙としている	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2
1 機能性		3.1	0.40	4.2	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性	個室10㎡/床以上	-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い仕上材の採用、屋外鉄部の防錆対策等	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3	5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	耐用年数の長い内装仕上材を採用	5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要用途上位3種のうち、2種以上にC以上を採用	4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	2.6	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり		2.8	0.30	2.2	0.50	
1	階高のゆとり	2.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.2	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.2
1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.85	2.7	0.50	-	2.7
4	効率的運用	3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価	3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価	-	-	-	-	
4.1	モニタリング	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2
1.1	節水	1.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.4	0.60	-	-	3.4
2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避	3.0	0.70	-	-	
1	消火剤	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	
3	冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率:88%	3.4	0.33	-	3.4
2 地域環境への配慮		2.4	0.33	-	-	2.4
2.1	大気汚染防止	3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制	2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40	-	-	
1	騒音	3.0	1.00	-	-	
2	振動	-	-	-	-	
3	悪臭	-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制	3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制	3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

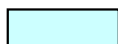
建物名称	(仮称)埼玉県富士見市針ヶ谷2丁BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	---------------------	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア			
3.4	+	2.3	= 5.7 
重点項目の各スコアの合計点			
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.4
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.4
・高効率な設備機器の導入により、CO2排出量の低減を図り、地球温暖化へ配慮している。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
・敷地内に多くの緑地を設けており、生物環境の保全や敷地内温熱環境の低減に配慮している。			

 : 入力欄